

第2号

# 特別支援教育だより

令和5年 5月 29日(月)  
 発行:系満市立兼城小学校  
 TEL:098-994-6321  
 校長:山田 浩也  
 担当:特別支援教育コーディネーター

## お子さんの「気になること」はありませんか？

↓気になる点があれば下の項目にチェックしてみてください。

①	持ち物をなくすことが、たびたびある。	
②	身の回りのものを、かたづけられない。	
③	手足をそわそわ動かしたり、いすの上でもじもじしたり、じっとしてられない。	
④	しゃべってはいけないところで、おしゃべりがやめられない。	
⑤	質問が終わらないうちに、答えてしまう。	
⑥	順番が待てないことがたびたびある。	
⑦	会話している相手と、目が合わないことがよくある。	
⑧	人の話を聞いていないように見える。	
⑨	同じ年齢の友達と複数で遊ぶことを嫌がる。	
⑩	ちょっとしたささいなことで、怒りだすことがたびたびある。	
⑪	決まっているルールにしたがって、遊ぶ事が苦手。	
⑫	同じ姿勢を続けていることが苦手。	
⑬	すぐに泣きだし、なかなか泣きやまない。	
⑭	文字や数字を写すと、左右が入れかわってしまう。	
⑮	靴の左右を間違えてはくことがたびたびある。	
⑯	自分なりの日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。	
⑰	周りの人が困惑するようなことを配慮せずに言うてしまう。	
⑱	こだわりが強く日常の活動ができなくなることがある。	
⑲	動作がぎこちない・手先が不器用である。	
⑳	記憶する量が少ない。(ワーキングメモリー)	

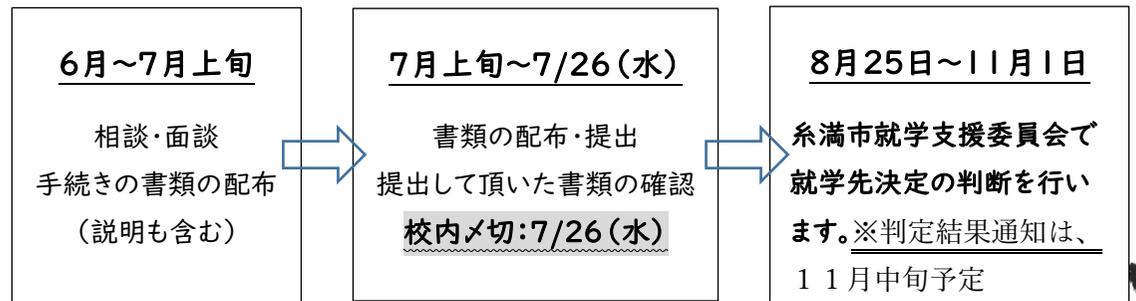


## 就学支援の手続きが始まります

「就学支援」とは、児童の障害の状態や特性等からの様々な面での困難さを改善・克服するために、児童に適した「学びの場」を考えて、手続きするものです。(開始は次年度からです。)就学先として、「特別支援学校」「特別支援学級」「通級指導教室」が挙げられます。

兼城小では、これから、系満市の就学判定会議(8月下旬～)に向けて、児童と担任、保護者とで今現在の児童の実態や困っていることや課題に気づき、「児童にとって最適な学びの場」を考える会議を行います。**※就学について相談したい方は、学級担任または特別支援教育コーディネーターにご相談ください。(今年度の就学の申請を希望の方は、7月上旬までには申し出てください。)**

### 「就学支援」の流れとその時期について (下図を参考)



また、本校には、スクールカウンセラーがいます。相談を受けたい方は、学級担任や特別支援教育コーディネーター、教育相談担当まで連絡ください。その他、系満市教育委員会による就学相談会の案内もありますので、お気軽にご相談下さい。

### ☆系満市特別支援保護者説明会☆

令和5年6月9日(金)

13:30～14:30

※LOGO フォームで申し込み

申し込み締め切り 6月7日(水)

※案内は配布済みです。

### ☆系満市就学相談会☆

令和5年6月26日(月)～28日(水)

いずれも 13:30～16:30

※後日、保護者へお知らせ及び申し込み用紙を配布いたします。

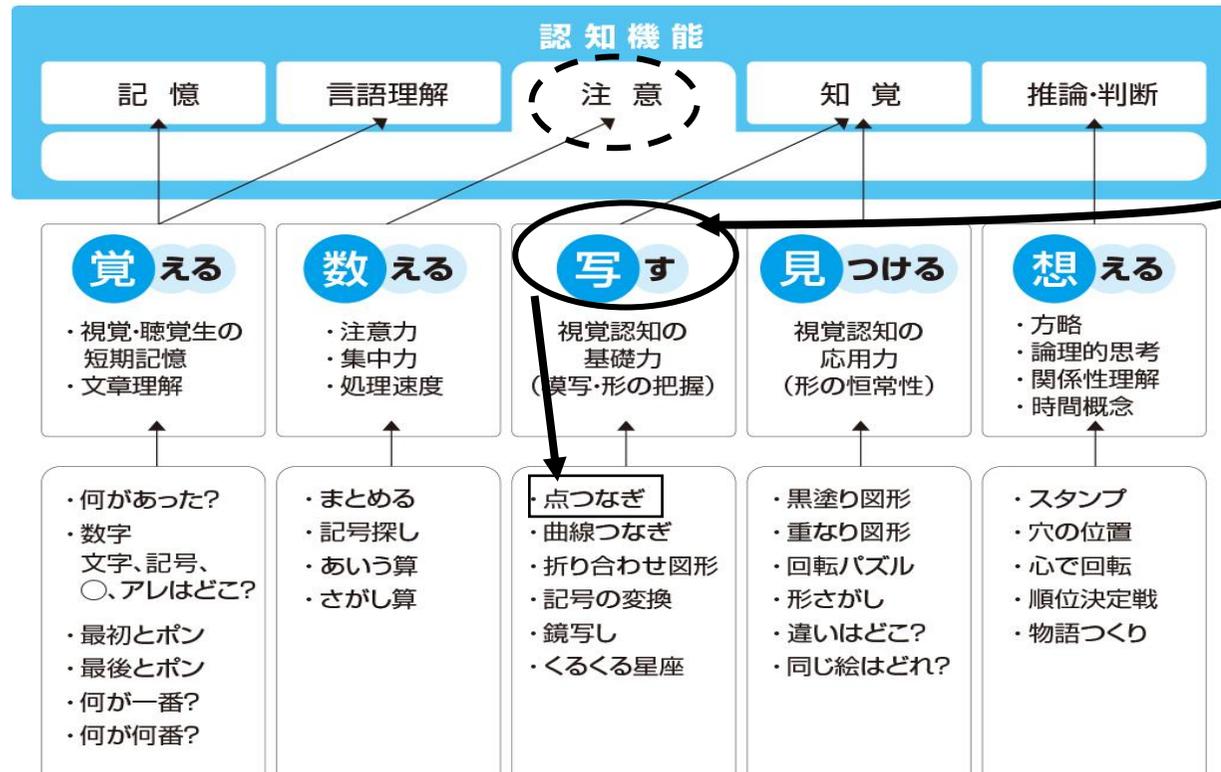
☆裏面に続きます

# コグトレとは？

兼城小では、校内研究の一環として、語彙指導の充実を図るため、週1回の国語タイムで辞書引き、短文作成、コグトレの3つを実施しています。

中でも、昨年度から実施している「コグトレ」について紹介します。

「コグトレ」とは、認知〇〇トレーニング (Cognitive 〇〇 Training) の略称で、認知機能に含まれる5つの要素 (記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断) に対応する、5つの力を伸ばすための、紙と鉛筆できるトレーニングです。



## おうちでコグトレ

・例えば、「みる力」の基礎力をつけたい！

- ・形を理解するのが苦手
- ・音読をしても読み間違いが多い
- ・漢字が覚えられない
- ・ノートのマス目から文字がはみ出す

③写す

⇒書く力につなげていく

**点つなぎ ① -2**

上の絵と同じように点をつないで下に写しましょう。

年 月 日

Neuro-Cognitive Enhancement Training

前回紹介した絵本『すきなこと にがてなこと』について、素敵なメッセージをいただきました。紹介しますね。Gさんありがとうございます。

私が読み聞かせで愛用中の「すきなこと にがてなこと」が、支援便りに扱われていて、感激でメッセージしました。今年も、読み聞かせしています。大人も子どもも関係なく、世の中が、「すきなこと・苦手なこと」で繋がったら、私らもこれから生きる子ども達も、心穏やかに過ごせますよね…。

☆次号は、「支援学級ってどんなところ？」をお伝えします。



話したくても話せない子どもたちがいます。場面緘黙（かんもく）を理解するための絵本です。

**読んでみてね！**

が「話したくない」というゴールではないこと、「話せない時も、たくさん感じている」こと。場面緘黙の子ども達が口に出せずにいた思いを、「なっちゃん」は教えてくれます。

「どうして いつもしゃべらないの？」  
クラスの子どもの素朴な疑問に、やさしく答える絵本です。

☆ふたば1組で貸し出します。